

呼吸器外科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ  
「GI-PET を用いた臨床病期Ⅰ期原発性肺癌における FDG-PET 集積定量による生物学的悪性度と予後の検討」への協力をお願い。

(研究機関：倫理委員会承認日～H31.7.31)

肺癌においてFDG-PET (fluorodeoxyglucose-positron emission tomography) の SUV max(Standardized uptake value max)値が予後の予測因子であると言われております。しかし腫瘍のより正確な生物学的悪性度を評価するためには、腫瘍全体の SUV値の定量化を行うことが重要です。今回当院でFDG-PETを施行された臨床病期Ⅰ期の原発性肺癌患者さんにおいて、定量化ソフトを用いた腫瘍全体のSUVの定量化を行い、治療成績や自然経過を観察させて頂きたいと思っております。

それゆえ、当科を受診された患者さんの以前のデータを解析いたします。対象となるデータは、診療録(問診や診療所見など)、投薬内容、疾患名、手術内容(術式、手術時間、出血量など)、検査結果(血液検査、尿検査など)、生理検査(心電図検査、心臓超音波検査、呼吸機能検査など)、画像検査(一般X線検査、CT検査、MRI検査、FDG-PETなど)、各種臨床評価指標、病理検査、日常診療において行われているデータで対象期間は2004年6月～2018年7月までです。

この研究は、過去の診療記録を用いて行われますので、該当する方の現在・未来の診療内容には全く影響を与えませんし、不利益を受けることもありません。解析にあたっては、個人情報匿名させていただき、その保護には十分に配慮いたします。当然ながら、学会や論文などによる結果発表に際しても、個人の特定が可能な情報は全て削除されます。

この研究に関して不明な点がある場合、あるいはデータの利用に同意されない場合には、以下にご連絡いただきたいと思います。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会の承認を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。この研究から生じる知的財産は研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈及び結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

2018年5月25日

連絡先：岐阜大学医学部附属病院 呼吸器センター

呼吸器外科 白橋幸洋 電話：058-230-6000(内線6849)